



初春に願いを込めて

1/1 新春さわやか元旦マラソン

恒例となっている元旦マラソン大会が1月1日、堀金早起きランニングコースで開催されました。同大会は、今回で30周年を迎え、この日は170人が参加し、2キロ・3キロ・5キロコースに分かれて、それぞれ自分のペースで走りました。主催した早起き健康マラソン代表の百瀬節夫さんは「30周年の記念の大会が大勢の参加で開催でき、大変うれしいです。また、毎週日曜日朝7時から走っていますので、これを機会に多くの皆さんに参加いただければ」と話してくれました。



統計調査の功績をたたえて

11/22 県統計功労者表彰

平成18年度長野県統計功労者表彰式(長野県・長野県統計協会主催)が11月22日、長野県庁で行われました。

安曇野市からは、統計調査において顕著な功績があった14人が表彰されました。

【総務大臣表彰】

勝川祐喜重氏(穂高) 神谷富子氏(穂高)
中田正志氏(三郷) 畠山津豆喜氏(穂高)
大蔵隆雄氏(三郷) 大月亀代子氏(穂高)
高木恒男氏(三郷) 中島正行氏(穂高)
齋 陸巳氏(三郷) 吉井佐壽賀氏(穂高)

【財団法人全国統計協会連合会長表彰】

白井健二氏(穂高)

【長野県統計協会会長表彰】

高橋五郎氏(三郷) 布山幹夫氏(三郷)
山浦美恵子氏(豊科) (式典名簿順)

新たな誓いを胸に

1/8 安曇野市成人式

安曇野市成人式が1月8日、安曇野スイス村サンモリッツで開かれました。

今年は、合併後初めて市内全地域の新成人が一同に会して開催されました。式典には、約800人が出席し、大人としての自覚を新たにしました。平林市長は「社会のためにさまざまな面で活躍し、21世紀の政治や経済、文化の水準を高めてほしい」と新成人を激励しました。また、新成人を代表して大倉健太郎さんは「成人式は、成人したことを確認し、自覚を持つための式だと思います。普段の日常生活の中で、社会的責任を果たしていきたい」と誓いました。

式典後の交流会では、中学生時代に人気のあった給食メニューが登場したほか、友人や恩師と記念撮影や談笑をするなど久しぶりの再会を喜び合いました。



新調した活動服をお披露目

1/7 平成19年市消防団出初式

安曇野市消防団出初式が1月7日、穂高会館で開かれました。

この日は、消防団員など850人が参加して行われました。式典で、林安男市消防団長は「消防団員の活動服を新調していただき、消防団への期待と重責に身の引き締まる思いです。地域住民の信頼と期待に応え、消防活動に精進したい」と新年の決意を話し、平林市長は「昨年の豪雨災害の教訓を踏まえ、今年には市民の生命、身体、財産を守る防災・危機管理体制の礎を築きたい」とあいさつしました。このほか、優良団員など約437人の表彰も行われました。団員は、市民へのお披露目も兼ねて今年度導入された活動服を着用して出席し、きびきびした動作で式典に臨んでいました。今後、活動服は、火災現場での消防活動などで使用します。

予定されていた分列行進と機械器具点検は、降雪のため中止となりました。



親子で料理教室・食を考える

12/17 まちづくりワークショップ

7月から始まった「協働のまちづくりワークショップ」の参加者が初めて企画した「親子料理教室」が12月17日、穂高健康支援センターで行われました。

この日は、市内の保育園児、幼稚園児と保護者など16組45人が参加し、食と健康について学びました。参加者は、手作りソーセージや芋団子汁、おからドーナツなど8品を親子で協力して作ったほか、はしの正しい持ち方なども学びました。

同ワークショップには、職員と市民約30人が5グループ(情報・教育・健康支援センター・地域自治・行政)に分かれて、それぞれ事業を企画し、運営を行うものです。今回は「健康づくりの基本は食習慣」をテーマに健康支援センターグループが企画しました。



新春の大空に栄える御柱

1/1 三郷北小倉の御柱

「御柱立て出てくりやい！」独特の節回しの子供たちの声地区に響きます。元旦の朝、暗いうちからこの声を合図に集まった地域の皆さんが御柱を立てました。

三郷・北小倉地区では、地区内3個所の道祖神の傍らに、毎年1月7日の朝まで飾り御柱が立てられます。子供や、地域の皆さんが準備してきた「おんべ」や「巾着」、そして太陽を表す大きな赤い「日天」と、月を表す大きな白い「月天」によってきらびやかに飾り付けられた御柱が、新春の大空に栄えていました。